

「あいち山村振興ビジョン2020（仮称）」中間案に対する県民の皆様からの御意見の概要と県の考え方

No	意見の概要	県の考え方
<基本的な考え方>		
1	<p>表題に「成果」とあるが、各項目の結びが「進展している。」「進められている。」「実施している。」「実を結んできている。」と進行形で統一されていることに違和感がある。</p> <p>成果とは「〇〇〇事業を実施したところ、△△△の効果が得られた。」と過去形で結ぶのが本来の形ではないかと思う。</p>	<p>ここでは、従来ビジョンによる主な取組と現時点での進捗状況の概要を「成果」として示しています。多くの取組が、期間中に完了することなく、新ビジョンにおいても継続・発展させていくものとして位置づけていることから、現在進行形としています。</p>
2	<p>既に終了している「あいちの山里で暮らそう80日間チャレンジ」の事業が、いまだに継続されているかのような表現となっており、誤解を招くと考えられる。</p>	<p>「あいちの山里で暮らそう80日間チャレンジ」は、平成24年度に国の緊急雇用事業を活用して実施したのですが、県では、そのスタッフをその後も引き続き、「あいちの山里チャレンジ特派員」として地域の特産品等のPRなどに活用しており、そうした後継事業も含めています。</p>
3	<p>「農林水産業の振興」の成果の筆頭が「ジビエ・グルメ・グランプリ」からの獣肉消費拡大という事に不自然さを感じる。県の農業振興課の事業だから、この項目に記載があるのだと思うが、一般的には農林水産業の振興の成果として獣肉消費拡大は結びつかないと思う。農林水産業の振興の成果とするならば、鳥獣害対策（鳥獣捕獲）によりどれだけの被害抑制効果があったかを記述するべきで、そこで得られる獣肉の有効活用については、また別の話ではないか。</p>	<p>農作物に対する鳥獣害対策としては、侵入防止柵、捕獲檻、和牛放牧、モンキー犬などの取組に加えて、各種の防止対策を組み合わせた総合防止モデルの普及を促進し、より一層効果的な対策に努めてまいります。</p> <p>さらに、捕獲するだけでなく、地元の特産品として、ジビエを活用すれば、鳥獣被害に関する県民の理解が深まるとともに、捕獲促進や農林水産業の振興、さらには三河山間地域の活性化にもつながると考えられます。</p> <p>御意見を踏まえ、しっかりと取り組んでまいりたいと考えております。</p>
4	<p>「地域おこし協力隊」の事業が国の事業であることを明記するべき。愛知県はこの事業を実施する市町村を支援している立場である。その構図を明らかにしておかなければ、この制度を知らない人がこのビジョンを読んだときに、愛知県が実施している事業だと誤解してしまう恐れがあると思う。</p>	<p>御意見を踏まえ、「地域おこし協力隊」に「(国の制度を活用した市町村事業。県は募集・研修等を支援するとともに、各隊員を「あいちの山里で暮らそうチャレンジ隊」に認定)」を追記します。</p>

<p><重点的施策の展開> 1 山里のひと・なりわいをつくる</p>	
<p>5</p>	<p>地域特性を活かした農林水産業の振興のうち、林業の振興について、木材を住宅建材として流通させる事を想定し、森林組合等の経営基盤の強化を進めるという事での記述であると思うが、今後、国内産の木材が住宅建材として経営基盤の強化を進められるほどの需要があるか疑問である。2011年に発生した東日本大震災では数十万棟の建物が破壊されたと言われているが、その建物を復旧していくなかで木材の値段が上がったという話を聞いたことがない。不謹慎かもしれないが、これだけ一度にこんなに沢山の住宅建材の需要が生まれたという事は、木材の値段が高騰してもおかしくない状況であったが、山林所有者が木材で潤ったという話は無い。国内産木材は住宅建材としては需要が限界という事ではないか。住宅建材として木材の活用を推進する取組は重要だと考えるが、もっと違った切り口での山林活用についての記述もないと、愛知県の林業に好転の兆しが見出せないと思う。</p>
<p>住宅分野では、従来、県産木材が使われていなかった梁・桁について、強度試験に取り組み始めたところでもあります。また、公共工事、公共建築物についても、「あいち木づかいプラン」に基づき、県産木材の利用拡大に取り組んでいるところでもあります。</p> <p>いただいた御意見を参考に、林業の振興に取り組んでまいります。</p>	
<p><重点的施策の展開> 3 安心・安全な地域社会をつくる</p>	
<p>6</p>	<p>「活躍している女性」とは、「企業に勤めて働いている女性」という意味にとれる。いわゆる「専業主婦」として、家庭を守り、子育てを一手に引き受けてそれに邁進している女性も「活躍している女性」とあると考えるが、そのあたりの気遣いが無いために、「活躍していない女性」＝「専業主婦」という意味を暗に感じる。「活躍促進」「女性の活躍に向けた」とするのではなく、単に「雇用促進」「女性の雇用に向けた」が良いのでは？女性活躍推進法を意識した記述だと思うが、企業勤めの女性だけが活躍しているわけではない。</p>
<p>本県は、特に若い世代において、男性に対する女性の割合が他の地域に比べ低い傾向があります。その背景には、男性の就業者比率が高い、製造業のウェイトが高いことが挙げられ、就業環境が女性の域外流出の一因と考えられます。このため、より多くの女性に活躍してもらうためには、女性にとって魅力があり、働きやすい雇用の場をもっと増やし、女性が職業において活躍していく土壌の形成が必要であることから、新ビジョンに位置づけました。</p> <p>今後の施策展開にあたっては、御意見を参考にしながら進めてまいります。</p>	
<p><重点的施策の展開> 5 持続可能な社会基盤を整備する</p>	
<p>7</p>	<p>「主な道路整備箇所図」の国道151号の示す場所について、図で示されているのは、太和金トンネルの箇所だと思われるが、現在、既に新たなトンネルの工事が進められている。ビジョンとして今後の整備箇所として示すのであれば、太和金トンネル～東栄町古戸間の曲がりくねった箇所や豊根村内の見通しの悪い箇所など、今後道路改良を進めなければならない箇所を示すべきではないかと思う。</p>
<p>主な道路整備箇所図は、あいち山村振興ビジョンの計画期間を踏まえ、現在事業中の箇所を示しております。御理解いただきますようお願いいたします。</p>	